

本時のねらい 感情や様子を伝える表現に慣れ親しみ、それを用いてジェスチャーを付けながら仲間と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

本時の展開 ( 4 / 4 )

過程	学習活動	本時の重点とする評価の観点と評価方法
導入	1.Warm-up Hello ! How are you? Hello,I'm fine(happy/great/sleepy/hungry/not so good). Let's sing a song "Hello Song". 2.ALT's Time ALT のジェスチャークイズに答える。ALT が示すジェスチャーや表情から今日はどんな感情・様子なのかを推測して答える。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ジェスチャーや表情をともなって、自分の感情や様子を進んで友だちに伝えようとしている。【観察・ワークシート】 イ 外国語への慣れ親しみ 感情や様子を表す表現に慣れ親しみ、友だちに伝えようとしている。 【観察】
課題	3.Activity ( 評価の観点 ア・イ )	各過程における配慮事項
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         多くの友だちと、ジェスチャーを付けて進んであいさつをし、友だちの様子を聞いてみよう。                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         (1)教師によるスキットを見て、活動の見通しをもつ。                          T1:How are you?                      T2:I'm happy. And you?                          T1:I'm sleepy(hungry/tired/happy・・・) ジェスチャーを付ける                          T2:Oh, are you sleepy?                          T2:Here you are. ( Item card を渡す )      T1:Thank you.                     </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;練習する時の動きの例&gt;</p> </div>	学習活動 1 について 英語で元気よくあいさつを交わす。教師も一緒になって振り付けをしながら“Hello Song”を歌う。 学習活動 2 について これまでの時間で慣れ親しんできた感情や様子を表す言葉を用いてクイズを行う。ALT は言葉にしないで、ジェスチャーや表情だけで今日の気分を表し、児童が“(Are you) sleepy?”などと予想して答える。 学習活動 3 について 担任と ALT または、担任と児童のデモンストレーションを行う。児童の慣れ親しみの度合いによって、スクランブルでインタビュー活動をする前にスキットを真似して慣れるとよい。左の図のように、二重の円になって児童が向かい合いペアを変化させながら、何回も繰り返すと自信をもって活動に臨むことができる。インタビューでは、児童にアイテムカードをいくつか渡しておく。hungry な友だちにはハンバーガー、sleepy な友だちにはベッド等、気分がすぐれない友だちがうれしくなるようなアイテムをカードにしておく、自分が伝えたことが相手に伝わったと実感できる。 学習活動 4 について もらったアイテムカードや、インタビューカードを見て、たくさんの友だちと活動ができたことを認める。教師が観察をしていて、特に空いている子に次々と話しかけていた児童のことを全体に広める。
評価	今日の気分について、教師と児童、児童と児童などで、話を交わす。このとき、I'm fine.だけでなく、いろいろな表現を聞いたり、表現したりしてみる。 (2)今日のスキットの表現に慣れたところで、小グループ 大グループ 全体とインタビュー - する範囲を広げる。 ・気分がすぐれない仲間にアイテムカードを渡す。 (3)挨拶を交わした相手の名前や様子をワークシートに記入する。 4.Evaluation (1)自己評価をする。自己評価を項目について振り返り、記入する。 ・相手に進んであいさつができた。 ・表情で表したり、ジェスチャーを使ったりして表現できた。 (2)相互評価をする。 ・I'm hungry.と答えたらハンバーガーのカードをもらって、言ったことが伝わっていると分かってよかった。 (3)教師による評価を聞いて次時への意欲をもつ。 ・様々な感情や様子を表す言葉を使いながら活動することができた。 自分から進んで声をかけていくことはこれからの活動でも続けていこう。	中学校へつなげるポイント この単元で慣れ親しんできた“ How are you?” とあいさつに加えて相手に問うことは、日常のコミュニケーションのマナーである。今後の活動でも活動の始まりには、教師が児童に問いかける。児童の実態に応じて“ How's it going?” “ What's up?” なども用いられることを紹介することもできる。